

杉原ウィーク2019・第20回杉原千畝記念短歌大会作品選考結果

(学生の部)

人道大賞	白黒の写真の中で泣く人と「蒼くなったね」って海を見た	平川 真菜佳	愛知県立常滑高等学校2年
------	----------------------------	--------	--------------

(一般の部)

人道大賞	階段を数えているかも白い杖声はかけない降りきるまでは	蓮見 孝子	神奈川県座間市
------	----------------------------	-------	---------

(小学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	フィリピン生まれのぼく言葉につまっても仲間がぼくの口になる	西山 李竜二	八百津町立錦津小学校6年
愛賞	ともだちをゆうせんするとうれしいなだからじぶんをさいごにするよ	やまだ しゅんた	八百津町立潮見小学校1年
心賞	リトアニアさくらを愛でる人びともわたしと同じやさしい気持ち	南 凜衣子	富士市立富士第二小学校5年
心賞	大人たちあの日の戦争忘れないあの日の事を子どもは知らない	長瀬 輝人	八百津町立和知小学校6年
勇気賞	飼っていた金魚が一匹になっていた一匹だけどうとい命	池田 晴翔	郡上市立大和南小学校5年
勇気賞	ハウセンカたった一つのたねだけそのたね一つが命をつなぐ	佐藤 なみ	八百津町立和知小学校6年
佳作	パシャパシとうしろにはねておよいでくパチポトツとザリガニいっぱい	うす田 ゆうじろう	郡上市立大和南小学校3年
佳作	平成が令和の時代が変わってもチャイムのやさしい音色変わらず	鈴木 深結	名古屋市立平和小学校6年
佳作	いえのまえどうろわたって川で見たドジョウいたんだしっぽだけだよ	黒木 麻央	郡上市立大和南小学校2年
佳作	おかあさんにくっついてたくてちかづいていたずらするのはすきだからだよ	大谷 桂吾	八百津町立潮見小学校3年
佳作	げんかんにもどってきたよつばめさんしあわせうたうはるのかぜ	大野 日愛里	八百津町立久田見小学校3年

(中学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	図書館で命の本を見つけたとき家族の顔が見えてくる	後藤 累伽	八百津町立八百津東部中学校1年
愛賞	僕と他の生命(いのち)を天秤に載せてみた傾くことは絶対ないはず	中野 翔太	静岡市立長田南中学校3年
心賞	この僕が初めて聴いた恐い歌祖父の歌った軍歌であります	森田 悠聖	名古屋大学教育学部附属中学校3年
心賞	あの日から七十四年経ったけど戦での死者未だに消えず	佐藤 涼真	静岡市立清水第二中学校2年
勇気賞	教科書のキノコ雲は白黒で仰ぐ夏空に吸いこまれていく	堀田 怜夏	静岡市立長田南中学校3年
勇気賞	手にとれず見る事さえもできないがこの世で一番大切なもの	安原 紗良	昭和女子大学附属昭和中学校1年
佳作	語り部の話を聞いて驚いた次は僕らが伝える番だ	加田 創夢	名古屋大学教育学部附属中学校3年
佳作	アフリカの小さな子供の手足見てごはん一粒残さず食べる	坂井 由杏	静岡市立長田南中学校3年
佳作	死にたいと思った日はね死んだ人が生きていたいと思った日だよ	安田 心美	川辺町立川辺中学校2年
佳作	車両越し見つめるあの子の瞳にはキラリとうつつ一枚(ひときれ)の紙	丹下 結雅	名古屋大学教育学部附属中学校3年
佳作	この瞬間世界のどこかで誰かのいのち消えていることに驚き感じる	竹迫 大輝	学校法人大阪産業大学大阪桐蔭中学校1年

(高校生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	石段の跡みつめれば人の影動き出しそうなヒロシマのあの日	田口 柚太	岐阜県立吉城高等学校1年
愛賞	沖縄で聞いた話は長いのにたったこれだけ教科書の中	山田 琴音	愛知県立杏和高等学校3年
心賞	長い耳大きく立てて死のまぎわ聞いていたのは家族の声	下方 結葵	愛知県立杏和高等学校2年
心賞	希望だの夢だのそんななくていい今ここにいる「あなた」を生きて	森 雅姫	愛知県立杏和高等学校2年
勇気賞	戦争で消えていくのは人の声多くの人が気づかぬうちに	水田 時采	岐阜県立八百津高等学校1年
勇気賞	世界中お金を集めて海に投げ戦争消えると少女は言った	安藤 友香	愛知県立瑞陵高等学校2年
佳作	「ありがとう」言わせてくれて「ありがとう」そんな毎日ふえたらいいな	内河 百々香	愛知県立杏和高等学校1年
佳作	泣きながら生まれた君の周りには泣いて喜ぶたくさん笑顔	樋口 友乃	愛知県立杏和高等学校1年
佳作	青い空青い海見て感じるの見えぬ無数のいのちの鼓動を	鈴木 志輝	愛知県立瑞陵高等学校1年
佳作	愛しい子ねんねんころりねんころり起きたら戦争終わっているはず	山本 夏也	愛知県立名古屋西高等学校2年
佳作	スリッパをきれいにそろえて去って行くそいつのあだ名はトイレの神様	早瀬 正宏	愛知県立小牧南高等学校2年

(一般の部)

	句	氏名	住所
愛賞	はるかなるヴィリニユスの地の千畝の碑に手袋をとり夫と触れたり	中澤 明子	東京都町田市
愛賞	今年より語り部はなし資料にて戦時下のくらし我が教える	村上 秀夫	山形県酒田市
心賞	日を浴びた洗濯物で戦争をする人たちの手を縛りたい	小橋 辰矢	岡山県瀬戸内市
心賞	せん妄に沈む翁は「伏せろ！」とふ青年の日のビルマにかえり	大江 美典	兵庫県西脇市
勇気賞	だって僕ら何も知らずに牛を食べるから命の重さが分からないんだ	坂庭 祐太	茨城県つくば市
勇気賞	中支にて軍用トラック乗りしとふ舅(ちち)は生涯免許を持たず	西尾 亜希子	岐阜県恵那市
佳作	ロヒンギヤに国籍なくてわが父の左の頬にグラマンの弾痕	和田 康	奈良県奈良市
佳作	紛争のスーダンよりのピーナッツ何も知らずに地中で育つ	松村 律子	大阪府池田市
佳作	缶ビールに点字のありし思いやりはじめて気づく夕餉の時に	岸本 成子	大分県大分市
佳作	近隣に東洋のアンネ多くあり国を選ばず泣く心持て	井上 堅太郎	東京都杉並区
佳作	疎開した大家は馬を押し入れに隠しに来たよ馬狩の日に	横山 美枝子	岐阜県羽島市

(学校賞)

学校賞	八百津町立潮見小学校
奨励賞	名古屋大学教育学部附属中学校
奨励賞	八百津町立錦津小学校